

I. 診療画像技術学

大項目	中項目	小項目
1. 診療放射線技師の役割と義務	A. 医療倫理	a. 関連法規と倫理規定 b. 技師の役割 c. 患者接遇 d. 患者・受検者のキュア<cure>とケア<care>
	B. チーム医療	a. 医療環境 b. 他の医療職種との連携 c. コミュニケーションの技術 d. 救急救命処置
	C. 安全を守るための技術	a. 安全のための関連法令 b. 医療事故の防止と対策 c. 患者の援助技術 d. 感染予防
2. 診療画像機器	A. X線源装置	a. X線管の構造と機能特性 b. X線管の性能特性 c. X線可動絞リ d. 放射口のろ過材
	B. X線高電圧装置	a. 種類と構造 b. 機能と特性 c. X線高電圧ケーブル d. 自動露出制御装置 e. 電源設備
	C. X線映像装置	a. X線イメージインテンシファイア b. X線間接撮影ミラーカメラ c. X線テレビカメラ d. X線テレビモニタ
	D. X線画像処理装置	a. DR・DF装置 b. CR装置 c. FPD装置
	E. 関連・付属機器	a. X線機械装置 b. カセット c. 増感紙 d. 散乱X線除去用グリッド e. イメージングプレート f. FPD g. 造影剤自動注入器<インジェクタ> h. レーザプリンタ i. 三次元画像処理装置
	F. X線装置システム	a. 一般X線撮影装置 b. X線透視撮影装置 c. X線断層撮影装置 d. 循環器用X線装置 e. 乳房用X線装置 f. 集団検診用X線装置 g. 可搬形X線撮影装置 h. 骨密度測定装置 i. 歯科用X線装置
	G. X線CT装置	a. 撮影原理 b. システムの構成と特徴 c. システムの性能

大項目	中項目	小項目
	H. MRI 装置	a. 撮影原理 b. システムの構成と特徴 c. システムの性能 d. コイルの種類と性能
	I. 超音波画像診断装置	a. 撮影原理 b. システムの構成と特徴 c. 探触子の種類と性能
	J. 眼底写真撮影装置 (無散瞳)	a. 撮影原理 b. システムの構成と特徴
	K. 品質・安全管理	a. 受入と保守 b. 管理体制と対策 c. 法令 d. JIS 規格
3. X 線撮影技術	A. 画像の成立	a. X 線の性質 b. 散乱 X 線 c. 画質と写真効果特性 d. 投影と画像の歪み e. 撮影条件
	B. 撮影体位	a. 基本の体位 b. 入射の方向と入射点 c. 運動の方向 d. 基準点・基準線・基準面
	C. 被ばくの低減と防護	a. 被ばく線量の低減 b. 高感受性組織の防護
	D. X 線撮影	a. 頭部 b. 脊柱 c. 体幹部 d. 四肢 e. 乳房 f. 軟部組織 g. 歯・顎顔面 h. 断層撮影 i. 立体撮影 j. 拡大撮影
	E. X 線造影検査	a. 理論と適応 b. X 線造影剤 c. 循環器・脈管系 d. 消化管系 e. 胆道系 f. 泌尿器・生殖器系 g. 脊髄・関節腔 h. IVR<インターベンショナルラジオロジー>

大項目	中項目	小項目
	F. X線 CT 検査	a. 頭部 b. 脊柱 c. 体幹部 d. 心臓・大血管 e. 四肢 f. 乳房 g. 軟部組織 h. 歯・顎顔面 i. 血管 j. 造影検査と方法 k. 画像処理、アーチファクト
	G. その他の撮影と検査	a. 骨塩定量検査 b. 集団検診
4. 診療画像検査	A. MRI 検査	a. 画像の処理と特性 b. パルスシーケンス c. MRA d. MR hydrography<水強調画像> e. 脂肪抑制画像 f. MR スペクトロスコピー g. ファンクショナル MRI h. アーチファクト i. 造影剤 j. 脳脊髄 k. 頭頸部 l. 胸部 m. 腹部 n. 心臓・大血管 o. 骨軟部・乳房
	B. 超音波検査	a. 検査目的と検査方法 b. アーチファクト c. 造影剤 d. 心臓・大血管 e. 腹部 f. 女性骨盤腔 g. 男性骨盤腔 h. 乳房・甲状腺・軟部組織
	C. 眼底カメラ検査	a. 構造と機能特性 b. 検査目的と検査方法 c. 画像の特徴 d. 撮影技術と画像特性
5. 画像解剖 (I)	A. X線画像	a. 正常画像 b. 異常陰影の形成要因と形状表現 c. 主要疾患画像 d. 頭部 e. 脊柱 f. 体幹部 g. 四肢 h. 乳房 i. 軟部組織 j. 歯・顎顔面

大項目	中項目	小項目
	B. X線造影画像	a. 正常画像 b. 異常像の形成要因と形状表現 c. 主要疾患画像 d. 循環器・脈管系 e. 消化管系 f. 胆道系 g. 泌尿器、生殖器系 h. 脊髄・関節腔 i. IVR<インターベンショナルラジオロジー>
	C. X線CT画像	a. 正常画像 b. 造影画像 c. 主要疾患画像 d. 三次元処理画像
6. 画像解剖(Ⅱ)	A. MR 像 B. 超音波画像 C. 眼底画像	a. 正常画像 b. 異常像の形成要因と形状表現 c. 主要疾患画像 a. 正常画像 b. 異常像の形成要因と形状表現 c. 主要疾患画像 a. 正常画像 b. 異常像の形成要因と形状表現 c. 主要疾患画像